

求人のためのご案内 2025

TAKUSHOKU UNIVERSITY CAMPUS GUIDE



拓殖大学
Takushoku University



拓殖大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する 教養と品格を具えた有為な人材の育成

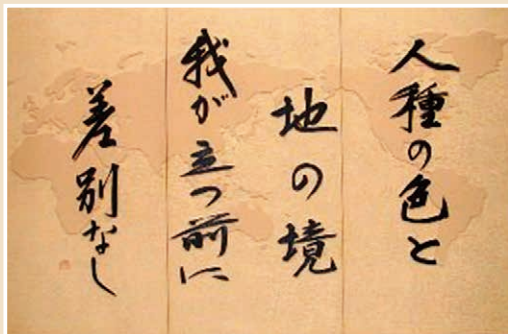
拓殖大学は明治33(西暦1900)年に台湾協会学校として、桂太郎公爵によって設立され、この建学の精神のもと、多くの卒業生が世界の各地で活躍する“国際大学”のパイオニアとして大きな足跡を残してきました。政治・経済・文化におけるあらゆる活動が、国や地域にとらわれない現代において、異なる文化や生活様式の人々と共に生きる視点を持ったグローバルな人材が必要とされています。本学ではこれからも、国内はもちろんのこと、アジアへ世界へと羽ばたき、社会に貢献できる「真の国際人」の育成に努めます。

歴代総長

初代校長	桂 太郎	かつら たろう	明治33年—大正元年
第2代学長	小松原英太郎	こまつばら えいたろう	大正元年—大正8年
第3代学長	後藤 新平	ごとう しんぺい	大正8年—昭和4年
第4代学長	永田 秀次郎	ながた ひでじろう	昭和4年—昭和18年
第5代学長	宇垣 一成	うがき かずしげ	昭和19年—昭和20年
第6代学長	下村 宏	しもむら ひろし	昭和20年—昭和21年
第7代総長	高垣 寅次郎	たかがき とらじろう	昭和21年—昭和27年
第8代総長	鈴木 憲久	すずきの りひさ	昭和27年—昭和28年
第9代総長	八田 嘉明	はった よしあき	昭和28年—昭和29年
第10代総長	矢部 貞治	やべて いじ	昭和30年—昭和39年
第11代総長	安東 義良	あんどう よしろう	昭和39年—昭和42年
第12代総長	中曽根 康弘	なかそね やすひろ	昭和42年—昭和46年
第13代総長	豊田 悌助	とよだ ていすけ	昭和46年—昭和53年
第14代総長	高瀬 侍郎	たかせ じろう	昭和54年—平成3年
第15代総長	小村 康一	こむら こういち	平成3年—平成7年
第16代総長	小田村 四郎	おだむら しろう	平成7年—平成15年
第17代総長	藤渡 辰信	ふじと たつのぶ	平成15年—平成23年
第18代総長	渡辺 利夫	わたなべ としお	平成23年—平成27年
第19代総長	森本 敏	もりもと さとし	平成28年—令和3年



校歌三番より



本学第7代学監・宮原民平氏作詞による校歌では、三番の一節で「人種の色と地の境 我が立つ前に差別なし」と、大学を超えた世界普遍の理念を謳い込み、最終節で「使命は崇し青年の力あふるる海の外」と、本学学生が目指すべき方向を明確に示しています。

“創立以来の国際大学”礎を築いた



明治維新後、日本の近代化を
リードした偉人

桂 太郎 (明治33年—大正元年)

拓殖大学創立者・初代校長

山口県出身。台湾総督、陸軍大臣、内務大臣、外務大臣、大蔵大臣、内大臣、癌研究所初代総裁、台湾協会会頭、内閣総理大臣(3度)等を歴任。1900年拓殖大学の前身・台湾協会学校の初代校長となる。翌1901年には第1次桂内閣を発足させた。



学長 鈴木 昭一

課題の発見と解決に向けて積極的に他者と協働して取り組むことのできる “拓殖人材”を育てています。

拓殖大学は1900(明治33)年の創立以来、グローバル人材の育成を建学の理念に掲げ、何事にも積極的にチャレンジし、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』の育成を目指しています。

国の内外を問わず「現場」で力を発揮できる人材の育成を教育目標として、国内外で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。アジアはもとより、南米、ヨーロッパを目指し、地域の情報と言葉を手に、世界中に飛び立っていった先人たちが数多くいます。

本学では、2030年に向けた中長期計画『教育ルネサンス

2030』を策定し、これまでの教育実績を発展的に継承しつつ「国際性」「専門性」「人間性」の3つの素養を備えた『拓殖人材』を社会に向けて輩出してまいります。

豊かな専門性を有し、多様な価値観を受容しうる寛容性と国際的視野を有し、社会課題の発見と解決に向けて他者と協働して取り組むことのできる人間性豊かな人材です。

拓殖人材は、必ずや貴社の期待に応え、力となり、大きな貢献をなすものと確信しております。ご採用に関しましては、格段のご配慮をお願い申し上げます。



歴代学監

初代学監	松崎 蔵之助	まつざき くらすけ	明治34年—大正3年
第2代学監	新渡戸 稲造	にとべい なぞう	大正6年—大正11年
第3代学監	松岡 均平	まつおか きんぺい	大正11年—大正13年
第4代学監	小川 郷太郎	おがわ ごうたろう	大正13年—昭和3年
第5代学監	永田 秀次郎	ながた ひでじろう	昭和3年—昭和4年
第6代学監	中村 進午	なかむら しんご	昭和4年—昭和14年
第7代学監	宮原 民平	みやはら みんぺい	昭和15年—昭和19年
第8代学監	高垣 寅次郎	たかがき とらじろう	昭和19年—昭和21年

◀ 恩賜記念館 (八王子国際キャンパス)

創立百周年記念建物として、かつて文京キャンパスに存在した恩賜記念講堂(写真右下・昭和16年12月卒業アルバムより)を復元したものです。



▲ タペストリー

この図柄は、本学が受け継いできた「海外雄飛」を具現化したもので、建学の精神に基づいたデザインとなっています。

先人達。



関東大震災から東京を 復興させたリーダー

後藤 新平 (大正8年—昭和4年)

拓殖大学第3代学長

板垣退助との出会いをきっかけに医師から内務省へ。卓越した政治手腕を買われ、台湾総督府民政長官、南満州鉄道総裁を経て、通信・内務・外務各大臣、東京市長等を歴任。東京放送局(現NHK)初代総裁。帝都復興院総裁として関東大震災直後の東京復興、また日ソ国交回復などに尽力した。



国際連盟でも活躍した、 日本が誇る国際人

新渡戸 稲造 (大正6年—大正11年)

拓殖大学第2代学監・教授

思想家・教育者であり、農業経済学・農学の研究も行っていた。旧五千円札の肖像となったことでも知られる。国際連盟事務次長、太平洋問題調査会理事長として、国際理解と世界平和に尽力した。「太平洋の橋とならん」の言葉はあまりに有名。著書『武士道』は世界各国語に翻訳されている。

学部・大学院

自ら考え行動できる自律性を持った、
国際社会に貢献できる人材を育てています。

文京キャンパス

商学部

- 経営学科
- 国際ビジネス学科
- 会計学科

商学分野における実学を身につけ、グローバル化の進む ビジネス社会で活躍できる人材を育成

経営学科(経営、IT経営、流通マーケティングの3コース制)では企業の活動や市場の仕組みを理解し積極的に経営に参画できる人材を、国際ビジネス学科では国際性とコミュニケーション能力を身につけて国際ビジネスの表舞台で活躍できる人材を、会計学科では新時代の会計や企業法制度に対応できる人材を育成しています。また、商学部では「『知』に基づいた行動力」を重視しており、ゼミナール研究発表会や各種論文コンテストへの参加が盛んで、多くの学生は、学んだ知識を活かして問題発見・解決する機会を数多く経験しています。



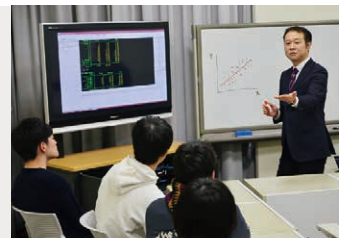
文京キャンパス

政経学部

- 法律政治学科
- 経済学科

法律・政治・経済の3分野における基礎・専門知識を身につけ、 国際的視野に立ち公共と民間の多様な領域で社会に貢献できるリーダーに

政経学部の教育の特徴は、学際的な視点から現代社会をとらえる能力の養成にあります。1年次に経済、法律、政治の3分野の基礎を学び多面的に物事を捉える力を鍛え、2年次からゼミナールを中心に、関心の深い分野を選択して各自で学びを深めていきます。法律政治学科は法律と政治の両面の学びと問題解決能力の育成に、経済学科は国・地域・企業などの多様な視点から変化の激しい経済動向を分析・説明することに主眼を置いています。



八王子国際キャンパス

外国語学部

- 英米語学科
- 中国語学科
- スペイン語学科
- 国際日本語学科

優れた語学の力と国際感覚を持ち、 相互理解を導く力を持った人材を育成

外国語学部の学生の特徴は、(1) コツコツ型の職人気質、(2) 高い異文化コミュニケーション能力、(3) 外国語情報の収集、分析力です。彼らは、目標を立て、資格試験等を利用して自律的に地道に学習を続けることができます。その結果、専門言語で日常的なコミュニケーションを取る能力や技術はもちろんのこと、言語に関わる幅広い分野で知的コミュニケーションが取れる運用能力を身に付けています。また、寛容性や柔軟性も高く、偏見を持つことなく多様な情報を吸収、分析、判断する高い学習能力も持ち合わせています。



八王子国際キャンパス

国際学部

- 国際学科

国際政策を戦略的に構築し、能動的に関与する、 広い視野と国際的見識が備わった指導者の育成

国際学部の教育の特徴は、国際政治と経済に加え、文化を含めた複数のコースを横断的に学習し、広範な視点を備えた、国際政策の指導的立場を目指す人材を育成することです。ウクライナにおける戦争を契機に国際秩序が激変するなかで、国際情勢の変化に敏感であり、開発問題を含め、様々な国際的な課題に解決策を提示し、それに能動的に関与する人材の育成に主眼を置いています。このため、入学時から卒業時まで、教員と学生の相互作用を重視した教育を実践しています。



八王子国際キャンパス

工学部

- 機械システム工学科
- 電子システム工学科
- 情報工学科
- デザイン学科

ものづくりを重視した知識と技術能力を武器に、 未来の「!」に挑む

工学部の学生は、設備の充実した八王子国際キャンパスにおいて、講義科目の他に実験・実習の授業をバランスよく修得しています。工学に関する基礎から応用に至る「ものづくり」を重視した知識と技術能力を身につけています。4年次には少人数で個別指導を受けられる「卒業研究」を必修科目として受講した後、社会へ巣立って行きます。協調性と粘り強さを併せ持ち、日本と国際社会の発展に貢献できる人材にご期待ください。



大学院

■ 経済学研究科 国際経済専攻

経済学研究科は半世紀を超える伝統を持ち、国際社会に貢献できる人材の育成という拓殖大学の理念の下、多くの日本人や留学生が学び、卒業後に日本社会や国際社会で活躍してきました。学生たちは、理論的考察やデータ解析、制度分析など様々なアプローチから社会問題の解明に取り組んでいます。このような学び・研究の場を与えることを通じて、不透明度が増すこれからの社会でも活躍できる高度職業人となり得る能力を養成しています。

■ 商学研究科 商学専攻

商学研究科は、商業系列(マーケティング、貿易・交通、金融など)、経営学系列(経営管理、経営戦略など)、会計学系列(会計、原価計算、財務分など)、法学系列(会社法、租税法など)の4つの系列で成り立っています。これら4つの系列において、研究者もしくは高度専門職業人の育成を目指しています。特に、会計学系列・法学系列では、これまで多くの卒業生が、税理士や公認会計士などの難関資格を取得しています。

■ 工学研究科 機械・電子システム工学専攻/情報・デザイン工学専攻

工学研究科では、機械・電子システム、情報・デザイン工学分野において、発展的な技術の習得、新たな技術の研究開発や提案を行います。これらの成果の積極的な学外発表を推奨しています。このように、急速に発展する社会や科学技術分野において、自ら問題意識を持ち、諸問題に柔軟に対応・解決する能力を養成しています。また、研究室やTAなどの活動を通して、コミュニケーション能力や指導能力を持った、社会の発展に寄与する人材を育成しています。

■ 言語教育研究科 英語教育学専攻/日本語教育学専攻/言語教育学専攻

言語教育研究科は、言語教育のスペシャリストを育成しており、これまでに、英語教師・日本語教師を中心に、言語教育関連の諸機関で活躍する多くの人材を輩出してきています。
〔英語教育学専攻〕ネイティブ教員の授業も多くあり、高度な英語運用能力も身につきます。
〔日本語教育学専攻〕本学の日本語教育の実績を踏まえ、実践的な授業にも力を入れています。
〔言語教育学専攻(博士後期課程)〕研究者としても活躍できるよう高度な研究を行います。

■ 国際協力学研究科 国際開発専攻/安全保障専攻

国際協力学研究科は国際開発と安全保障の2つの専攻で構成されています。本研究科では国際開発と安全保障を不可分の関係として位置づけ、これら2分野の連携・融合を図りつつ、地域研究に根差した学問探求を中核とし、国際開発・安全保障の分野における研究者ならびに高度の知識を持つ専門的職業人の養成を行っています。20余の科目は日本語のみならず英語による授業を行っており、博士前期・後期を修了することができます。国際的な環境で様々な問題を解決できる能力を獲得し、これを実践できる人材を育成しています。

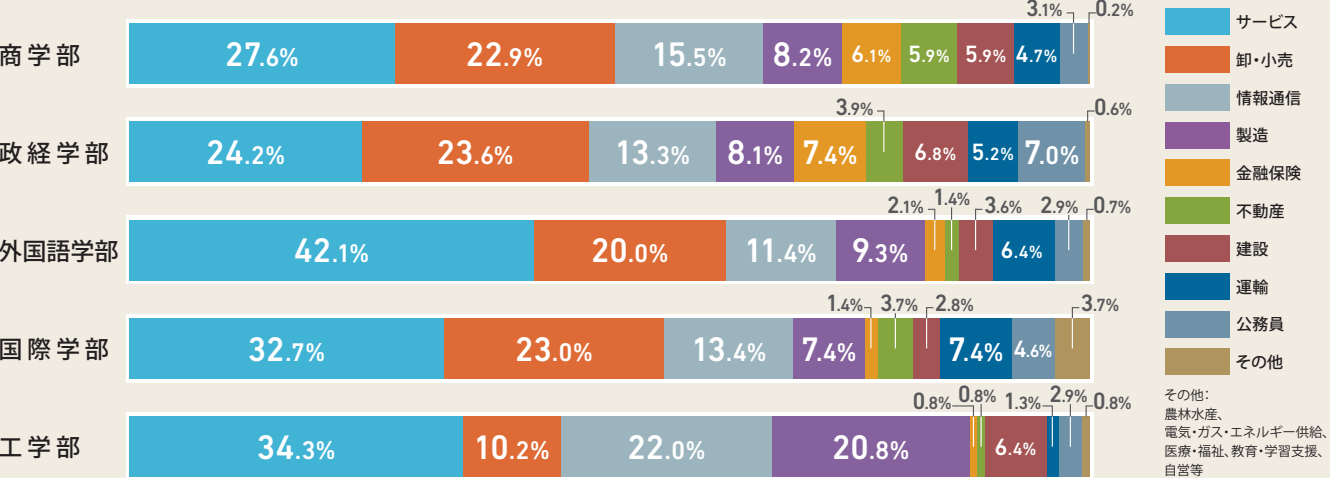
■ 地方政治行政研究科 地方政治行政専攻

政策立案過程で最も重要なのは、その政策の効果を実証する「エビデンス」です。政治や行政の現場で求められているのは、有権者の声を聞きながら現状を正しく認識し、科学的根拠に基づいた「エビデンス」を備えた政策を提示できる人材です。本研究科では、地方政治や行政に関する強い使命感や熱意だけでなく、現実をクールに実証分析する能力を備え、具体的な政策を立案し遂行できるリーダーを育成しています。

データで見る拓大生

国内はもとより広く海外からも集う拓大生。
広い視野に立って自ら課題を見つけ、解決できる力を
身に付けた新社会人として力強く踏み出します。

業種別 就職状況 (2023年3月卒)

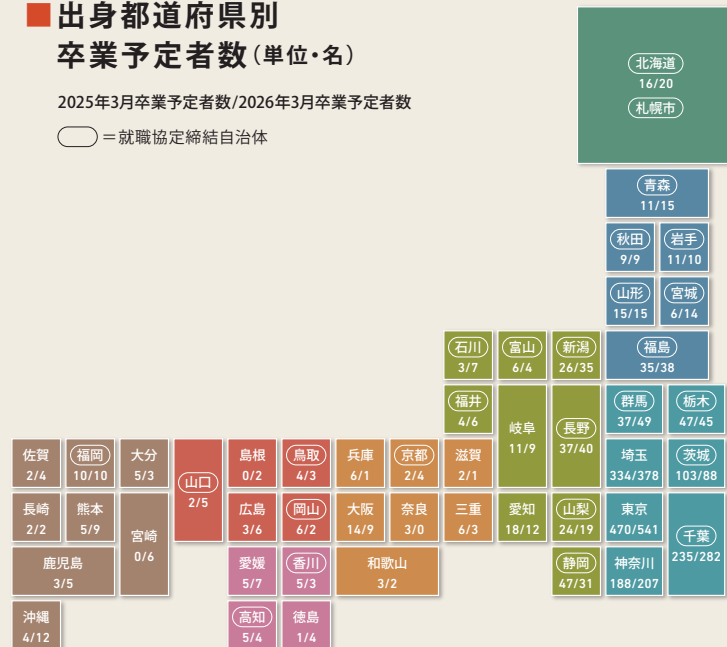


学部別 卒業予定者数 (単位・名)

学部	学科	2025年3月 卒業予定者数	2026年3月 卒業予定者数
商学部	経営学科	384	479
	国際ビジネス学科	152	191
	会計学科	69	80
	学部計	605	750
政経学部	法律政治学科	199	231
	経済学科	470	470
	学部計	669	701
外国語学部	英米語学科	98	108
	中国語学科	41	32
	スペイン語学科	34	28
	国際日本語学科	44	37
	学部計	217	205
国際学部	国際学科	284	319
	学部計	284	319
工学部	機械システム工学科	68	69
	電子システム工学科	77	87
	情報工学科	87	132
	デザイン学科	82	85
	学部計	314	373
		2,089	2,348

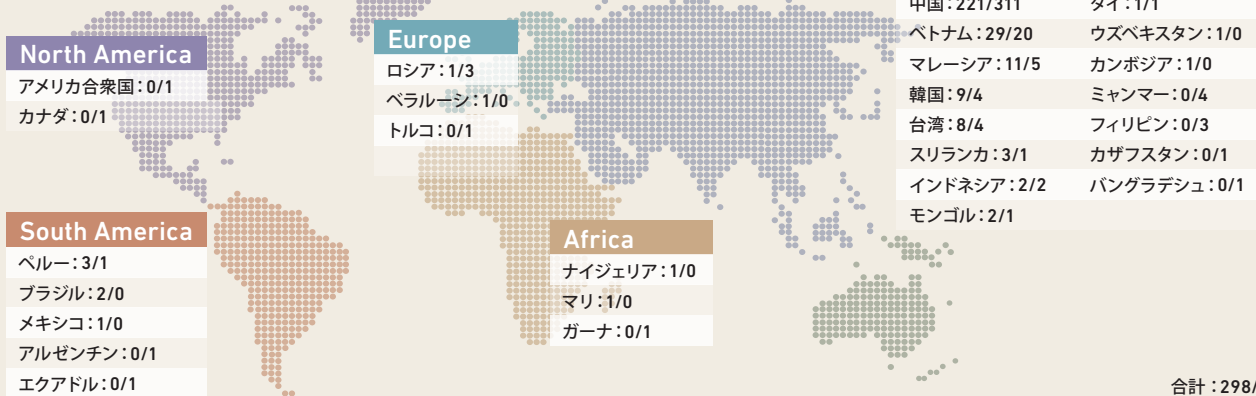
出身都道府県別 卒業予定者数 (単位・名)

2025年3月卒業予定者数/2026年3月卒業予定者数
○ = 就職協定締結自治体



外国籍学生 出身国別 卒業予定者数 (単位・名)

2025年3月卒業予定者数/2026年3月卒業予定者数



長年にわたって世界と向き合ってきた本学では、世界の約8割の国・地域で使用される15の言語を学ぶことができます。

アラビア語、インド・パキスタン語(ヒンディ語)、インドネシア・マレーシア語、韓国語、タイ語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、英語、スペイン語、ドイツ語、ブラジル・ポルトガル語、フランス語、ロシア語、日本語

拓大生のいま

伝統の国際交流、活発なゼミナール、盛んな部活動・サークル、
社会人基礎力育成グランプリや学生チャレンジ企画では、
学生たちが主体性、問題解決能力を伸ばして、実践力ある人材に育っています。

オレンジプロジェクト



教職員・学生が一丸となって取り組む、拓殖大学改革プロジェクト。テーマの異なる5つのグループで、自由にアイデアを出し合いながら、まじめに楽しく活動しています。そして、メンバーひとりひとりが成長しながら、国際的な視野を持ち、積極的にチャレンジしていくタフな人間力を身につけたグローバル人材(=拓殖人材)を育成します。このプロジェクトから、拓大にとめどないエネルギーを生み出し、拓大の景色を塗り替え続けていきます。



地域の皆様との交流を図るスポーツオープンキャンパス



「サービス介助基礎検定」研修会

小学生対象「理科教室」開催



SOGI×異文化コミュニケーションについて学ぶ「カラーリボン講座」

学生チャレンジ企画

社会や地域貢献、国際交流、ボランティア、大学の活性化などにつながる活動を積極的に行う学生をサポートする制度。学生たちは、問題解決力、コミュニケーション力、交渉力、予算管理力の向上を目的とし、目標に向かって企画を実行しています。



生分解性プラスチックの認知拡大と新たな可能性の提案「生分解できるカゼインプラスチックを広めよう」



防げるがん:フォーカス・フューチャープロジェクト「子宮頸がんの正しい知識を多国籍言語で発信」



みんなで作ろう! SDGsモザイクアートプロジェクト「プラスチックゴミでSDGsアートを作って関心を広めたい」



ボランティア&交流プロジェクト in the philippines～離島の子供たちにもっと笑顔を～「フィリピンの子どもたちに学びの機会を」



農と学のマルシェ ～北海道と東京をつなぐ～「農業を身近に感じて、「陸の豊かさを守る」を考えてもらおうきっかけに。」

桂太郎塾



現代版「松下村塾」を理想に掲げてスタートした特別講座。当代一流の講師による講義、学部・学年・国籍を超えた塾生同士で行う集団討論や論文発表を通じて切磋琢磨し合い、柔軟性、協調性、バランス感覚をもった“未来のリーダー”を育成しています。

ゼミナール



特定のテーマのもとに教員と学生、あるいは学生同士がディスカッションをしながら学ぶ少人数制のゼミナールを多数用意しており、みな熱心に活動しています。工学部では、ウルシの木を使ったオーナメントやトレイ、アロマグッズを制作し、漆産業と漆産地の活性化、SDGsへの貢献を目的として、漆掻き後のウルシ木材の活用に取り組んでいます。

海外留学



本学では現在22カ国・地域の52大学・機関と交流・提携しています。学生や教員の派遣や受入など積極的な国際交流活動を行っており、留学のチャンスは世界中に広がっています。学生からは「このような時期に派遣される意義を十分に踏まえ、実のある研修となるように頑張ります」との決意表明がありました。

麗澤会 海外派遣団



課外活動を総括する全学的組織を“麗澤会”と称し、学長・教職員・学生が三位一体となって、本学の発展に向け活動しています。1972年より、毎年夏季休暇等を利用して行う海外親善派遣（2023年度はブラジルへ派遣）は、学生時代に海外の諸事情に触れ、異文化への理解を深めて、国際親善に努めることを目的としています。

麗澤会 体育局



体育局は全国大会出場やオリンピック選手の輩出など、全国的にも高いレベルを誇っています。ライフセービング部は、1991（平成3）年より毎年夏季の期間（7～8月）、千葉県御宿町の海水浴場にて監視活動に携わってきました。これまで30年間監視活動を継続して行い、安全で安心な海水浴場の確立に貢献し、感謝状が授与されました。

麗澤会 文化局 ・愛好会・サークル・その他



各国の文化・言語を学ぶ団体による80回以上続く語劇祭や、学生をサポートする委員会、事務局なども精力的に活動しています。探検部は、主にキャンプ、ラフティング、登山、釣りなど、アウトドアのアクティビティを行う部活です。大学祭の模擬店では、ワニなど珍しいお肉を使用した料理が、毎年人気となっています。

社会人基礎力 育成グランプリ



ゼミナールや研究室等での課題解決型学習・実習において、学生たちがどのような課題に取り組み、どれだけ社会人基礎力が伸びたか、プレゼンテーションを通じて競い合う全国大会。毎年多数のチームがグランプリを目指しチャレンジしています。

拓殖大学学生三大祭典

紅陵祭（大学祭）



本学学生最大のイベントである紅陵祭は、50を超える団体が展示発表、模擬店、ライブを披露します。2023年度、日々の成果を遺憾なく発表し、紅陵祭を盛り上げた団体に贈られる拓殖杯は「ダンス愛好会（Bloom）」でした。

国際フェスティバル



本学の国際色豊かな面を祭に反映させた教室展示、演奏、ダンス、スポーツ、各国の伝統料理の模擬店などが出店します。学生の課外活動への熱を感じられるイベントとなっています。

語劇祭



海外の言語や文化を学ぶゼミ・サークルが、それぞれの専門とする言語で演劇をします。1922年から続く最も歴史のある伝統行事であり、85回目の開催となった2023年は、英語や中国語、インドネシア語などの演劇が発表されました。

骨太と誠実

学部の特徴を生かしたキャリア教育と、全学的就職支援の連携強化によって
骨太で誠実なグローバル人材(拓殖人材)の育成を目指します。

プロから学べるチャンスを用意

業界研究や模擬面接、就職宿舎セミナーなどでは、
企業のみなさまのご協力により、
実社会への理解を深めています。

1年次から始まる「キャリア支援」

東京商工会議所と連携して、大学初年次からの職業観の醸成を目的に、
企業を訪問して経営者や社員の方々と語り合い、
会社の仕組みや業種の特性について学んでいます。

求人受付について

日頃より本学学生の就職活動、採用におきまして多くのご協力をいただき、
厚く御礼申し上げます。本学では企業・団体様方から求人を随時受け付けており、
学内のシステムにて学生に公開しています。下記いずれかの方法で求人情報を
ご登録くださいますよう、お願い申し上げます。

① 求人受付 NAVI



本学では、求人受付NAVIを導入し、学生に向けた求人情報をリアルタイムに
公開しています。本学ホームページ内「企業採用ご担当のみなさまへ」から
求人NAVIへログインの上、ご登録ください。

企業採用ご担当のみなさまへ

<https://www.takushoku-u.ac.jp/enterprise/adopt.html>

求人NAVI

<https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

② 郵送



③ E-mail

郵送、E-mailでお送りいただく場合、「青少年の雇用の促進等に関する法律」に
基づき、「自己申告書」と「青少年雇用情報シート」も併せてお願いいたします。

※インターンシップのご案内につきましては、郵送・E-mailにてお送りください。

本学卒業生の 在職状況について

貴社に本学卒業生がおりましたらお知らせください。
在学生の就職活動における一助とさせていただきたくご協力のほどお願い申し上げます。

本学ホームページ内「企業採用ご担当のみなさまへ」からフォーマットをダウンロードしていただけます。
貴社作成の卒業生在職名簿がございましたら、そちらでも構いません。郵送、E-mailいずれかの方法でお送りください。

※E-mailでお送りいただく際は、ファイルにパスワードの設定をお願いいたします。 ※いただいた名簿は、本学学生の就職活動支援にのみ使用いたします。

拓殖大学 企業の方



<https://www.takushoku-u.ac.jp/enterprise/>

連絡先

文京キャンパス 商学部・政経学部

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 就職課: C館2階

TEL 03-3947-7205 FAX 03-3947-9581 E-mail ▶ shushoku@ofc.takushoku-u.ac.jp

【交通】東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車 徒歩3分 ※駐車場がないためお車でのアクセスはご注意ください。



八王子国際キャンパス 外国語学部・国際学部・工学部

〒193-0985 東京都八王子市館町815-1 八王子就職課: A館1階

TEL 042-665-1467 FAX 042-665-1543 E-mail ▶ 8shushoku@ofc.takushoku-u.ac.jp

【交通】JR中央線・京王線「高尾駅」南口下車 京王バス「急行 拓殖大学」ゆき 直行10分

